

# 保育実習Ⅰ（施設）の代替授業 ― 学校内演習の取り組みについて ―

高橋 雅人 鈴木 弘充<sup>a</sup>

<sup>a</sup> 湘北短期大学保育学科

## 【抄録】

保育士資格取得のための保育実習Ⅰ（施設）（以下、施設実習）には、本学保育学科1年生は全員が参加することになっている。しかし、新型コロナウイルス感染症により、2020年度の施設実習は34施設からの中止連絡があった。そのため、学校内での実践に則った演習を行うことになった。本稿は、施設実習に代わる学校内演習の内容を振り返るとともに、今後のあり方について考察する。

## 【キーワード】

コロナ禍、施設実習、学校内演習

## 1. はじめに

湘北短期大学保育学科では、135名（入学定員）の保育士を養成しており、必修科目である保育実習Ⅰ（施設）においては全員が参加している。2020年度の施設実習は、2021年2月22日（月）～3月20日（土）の期間で各種施設（乳児院、児童養護施設、児童心理治療施設、児童発達支援センター、児童相談所一時保護所、障害児入所施設（福祉型・医療型）、障害者支援施設）にて行う予定であった。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けた2019年度においては、予定していた施設実習に19名が不参加となった。これは、感染が拡大し始めた2020年2月25日以降、「実習生の受入れを中止したい」という申し出があったことによるものである。結局、19名は受け入れ可能な児童養護施設や障害者支援施設にて、時期を遅らせて実習を終了した。

しかし、2020年度入学学生においては、新型コロナウイルスの感染拡大や神奈川県緊急事態宣言を受け、「実習生の受け入れを中止したい」という連絡が2020年11月頃から入るようになった。最終的に、実習開始前までに34施設からの中止連絡があった。実習が中止と決まった学生の中には、単位取得が困難になるのではという不安を訴える者もいた。

厚生労働省（2020）は、このような状況の中で実習施設の確保が困難である場合には、施設実習に代わる演習や学校内での実習を認めた。そのため、施設実習単位取得のため、学校内にての演習を行うことを決定し56名が履修することとなった。

今後も新型コロナウイルスの感染次第では、学校内演習の必要性に迫られることが十分に予測できる。本稿では、2021年2月から3月にわたって実施した施設実習に代わる学校内演習の様子を振り

返ってみたい。そこで明らかになった反省点から、次回につなげていく検討事項を整理したい。

## 2. 施設実習に代わる学校内演習の概要

### (1) 学校内演習の開始まで

2021年の年明け後、施設実習が中止になった学生に対して、学校内演習を実施することを周知した。

2021年1月27日(水)には、参加予定の学生にZoomを使用してオリエンテーションを行った。

#### ① 学校内演習の日程、時間割、演習内容の決定

学校内演習は、本来の施設実習期間である2021年2月22日(月)～3月5日(金)に合わせて日程および時間割を設定した。演習の内容は、「施設職員による講演会」「事例研究」を中心に構成した。ほかには、各教員の実務経験や研究分野によって内容を決めることとした。また、対面授業とZoomによるオンラインのハイブリッド型授業にて組み立てた。

教員は、「乳児院・児童養護施設担当」として高橋雅人、「障害児・者施設担当」として鈴木弘充が担当した。

履修学生には、実習に行く予定の施設の種別にかかわらず学んでもらった。

#### ② 学校内演習実施にあたっての感染症対策

学校内演習の時期、神奈川県は緊急事態宣言中であったため、学生が密となるような演習課題は避けることにした。大学入校時には、サーモカメラでの検温と手指の消毒を促し、休憩時間、昼食時間などにも学生同士での密になった会話などは避けるよう注意喚起を徹底した。

教室は、3方向に窓が設置してある場所を選んだ。学生の座席も「ソーシャルディスタンス」を保



図1 実施教室

つよう工夫した（本学では、換気を促すベルが授業開始後30分経過時、60分経過時に鳴る）。

#### ③ 未参加学生への補講

保育所実習の期間延長のため、学校内演習を欠席する学生がいた。欠席者には補講を設定し、必要コマ数を確保するようにした（実施日は、2021年3月17日(水)、19日(金)、22日(月)、24日(水)に設定した。内容は、表1と同様である）。

#### ④ その他

施設実習と同様に、① 毎朝「出勤簿」への押印  
② 実習日誌の記入 ③ 一日一つの家事を行う3点を責務とした。

## (2) 学校内演習の時間割

表1 乳児院・児童養護施設を想定した学校内演習時間割

	2月22日(月) 対面授業	2月24日(水) 対面授業	2月25日(木) オンライン授業	2月26日(金) 対面授業	2月27日(土) オンライン授業
1限	ガイダンス、実習日誌の記入の説明	児童養護施設職員の仕事	事例研究①	乳児院の生活(映像視聴)	事例研究④
2限	児童養護施設の生活(映像視聴)	施設職員の講演(卒業生)	事例研究②	乳児院職員の仕事	事例研究⑤
3限	児童養護施設の生活(映像視聴)	体験活動①	事例研究③	体験活動②	まとめ(反省会)

表2 障害児・者施設を想定した学校内演習時間割

	3月1日(月) 対面授業	3月2日(火) 対面授業	3月3日(水) オンライン授業	3月4日(木) オンライン授業	3月5日(金) 対面授業
1限	障害児施設の生活①	障害者の特性①	講義・事例研究①	講義・事例研究②	障害者施設の生活
2限	障害児施設の生活②	障害者の特性②	事例研究①	事例研究②	施設職員の講演(卒業生)
3限	重症心身障害児・者の生活	障害者の特性③	事例研究①・解説	事例研究②・解説	障害児とその家族

## 3. 乳児院・児童養護施設：演習の紹介

乳児院・児童養護施設の演習では、「子どもたちとの交流を想定した演習」、「施設職員の仕事を理解すること」を目的とし、現場の雰囲気を感じてもらうことを意識した。

### (1) 演習の進め方(導入)

第1日目(2/22(月))の1限にガイダンスを行った(時間割、持ち物の確認、演習の進め方、実習日誌の記入について)。

### (2) 乳児院・児童養護施設の概要：映像を使用して

児童養護施設の概要を学ぶことをねらいに、第1日目の2限と3限に映像教材『児童養護施設における施設実習』を使用した。本教材は、実習生2名が日課に沿って実習を行う様子を紹介している。午

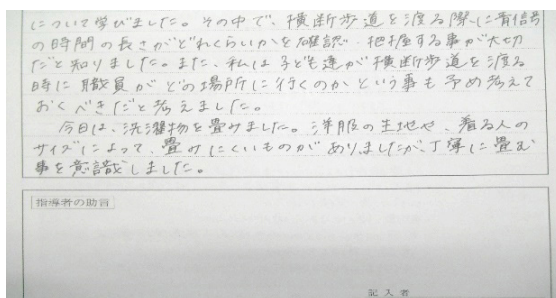


図2 家事について日誌に記入

積極的な家事の実施。施設実習を想定して毎日家事を一つ行った。食後の食器あらい、洗濯、ごみ捨てなどを行い日誌の最後に報告、感想を記入するようにした。

後の勤務から宿直勤務を経て翌日の昼までの構成となっている。また、対人関係に困難を要する子どもとの遊びの場面や高齢児童とのふれ合い、家事を任されたエピソードなども紹介されている。施設実習や児童養護施設の生活を知るには、適した映像教材である。

乳児院については、第4日目の1限に映像教材『乳児院 あたたかい見守りの中で』を使用した。乳児院で働く保育士や看護師、家庭支援相談員、心理士、施設長のインタビューのほか、入所から退所までの様子が紹介されている。乳児院で働く保育士の全体像を理解できる映像となっている。また、1日が「起床時～午前の活動」「昼食～午睡」「午後の活動～夕食」「就寝時」「深夜帯」と分類されているため、日課の理解を深めることに適している。特に、保育所とは異なる勤務形態、深夜帯の保育士の様子を学ぶことが学生の興味・関心につながったようであった。

2日目の1限には、児童養護施設職員の仕事、4日目の2限には、乳児院職員の仕事について解説した。

### (3) 施設職員による講演

児童養護施設に就職した2019年度の卒業生Tさんの講演を実施した。

Tさんは、児童養護施設で生活を送る子どもの様子や保護者対応、職場の先輩から教わった支援方法など、エピソードを織り交ぜながら講演を行ってくれた(質疑応答を入れて90分)。

講演後、学生からTさんに感想を提出した。感想には、講演内容について質問を求めた学生もい

た。後日、Tさんから返信が届き、教員経由で学生へ手渡した。

### (4) 事例研究

事例研究は、「実習生の困ったシリーズ、こんなときどうする？皆さんに問題解決の方法を考えてもらいます」をテーマとして設定した。

事例研究①「ケンカの場合の対応について」

事例研究②「学習意欲の欠ける子どもの学習指導について」

事例研究③「自分の親を非難する子どもの対応について」

事例研究④「高齢児童の対応について」

事例研究⑤「実習日誌を記入してみよう(乳児院)」

### (5) 体験活動

体験活動①「児童養護施設の余暇活動 小学生と工作をしよう」

休日に児童養護施設の小学生と工作をする設定で、各自が家にある物品を持ち寄り、「マスクの下は笑顔です」というバッジを作った。

体験活動②「児童養護施設の小学生と散歩に行ってみよう」

乳児院や児童養護施設の実習では、子どもたちと散歩や屋外で遊ぶこともある。本学校内演習期間は緊急事態宣言中であり、大人数で外出することは許される状況ではなかった。そのため、施設

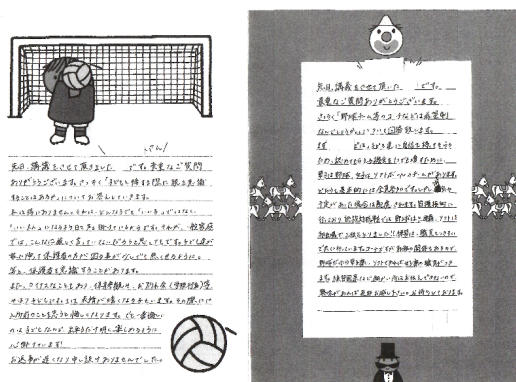


図3 質問への返信



図4 バッジ作りのイメージと持ち物





図5 できあがりを披露



図6 完成作品



図7 完成作品

で暮らす小学生と散歩に出かけることを想定し、指示1～10についてスマートフォンで検索した。

散歩に出かけるのは、小学1年生4人（A君とB君はAD/HD（注意欠如・多動症）、CちゃんとDちゃんは被虐待児童の設定）。引率者は、施設保育士1人、実習生1人。

あらかじめ、教員が地図を用意し、地図上に出発地点と目的地を記入しておいた。

- ・指示1：目的地までの所要時間はどのくらいですか。
- ・指示2：信号はいくつありますか。
- ・指示3：経路に公共の場所がありますか。
- ・指示4：経路に飲食、休憩できる場所がありますか。
- ・指示5：歩道の幅は子どもと並んで歩けますか。
- ・指示6：子どもが飛び出してしまうような場所がありますか。

指示1～4は、スマートフォンを使用すれば検索は可能であるが、指示5、6は、実際に保育士の目で確認しなければ危険な箇所の判断は不可能である。児童養護施設では、衝動的に飛び出してしまう発達障害の子どもや、虐待を受けたことにより刺激に反応する子どももいる。子どもの危険を避けることが、施設保育士の重要な仕事であることを理解してほしいねらいがあった。

- ・指示7：公園にトレイはいくつありますか。
- ・指示8：公園に水道場はいくつありますか。
- ・指示9：公園に着替えができる場所がありますか。
- ・指示10：死角となる場所はどこですか。

散歩の目的地である公園は、子どもたちが安全に遊ぶことができる場所でなければならない。施設保育士は、子どもたちの生活に「飽き」がこないように、幾つもの遊べる場所を見つけておくことも大切な仕事である。スマートフォンは便利であるが、スマートフォンで得た情報が更新されていないこともある。そのため、子どもたちが安全に遊ぶことができるように、自分の目で確認することを習慣化してほしいと解説した。

## (6) まとめ（反省会）

乳児院・児童養護施設週最終コマをまとめ（反省会）とした。

参加学生には、最終日の昼までに教員のメールアドレスに質問を送ってもらい、教員がまとめて全体へ回答した。

表3 学生からの質問

# 1.「児童養護施設に関する質問」

## ① 日課や行事、規則について

- ・施設の子どもたちの学校で必要な物や習い事にかかる費用は親が払うこともあるのですか。
- ・施設にいる高校生は放課後遊びに行くことや、友達と旅行することはできるのでしょうか。
- ・子どもたちは誕生日やクリスマスにプレゼントはもらえますか。
- ・小学生や中学生などアルバイトができない年齢だと、やはりお小遣いなどがきめられているのでしょうか。それとも、必要になり次第渡すのでしょうか。
- ・児童養護施設の子どもたちが遊ぶ玩具等は職員等を選んで買っているのですか？それとも子どもたちに希望を取って買っているのですか。好きな時間に好きなお菓子を食べることはできるのでしょうか。
- ・年頃の女の子はメイク道具や好きな洋服などは、自分で欲しい時に欲しい物を買うことができますか。

## ② 子どもたちの思いを想像しての質問

- ・乳児院に比べ児童養護施設は年齢層が幅広く子どもたちの年代それぞれに対応するのが難しいのではないかと感じました。年齢によって部屋が分かれていることが多いのでしょうか。子どもたち同士ずっと一緒に生活をすると思いますが、同年代同世代の子のことは家族のような存在なのか友達感覚の方が強いのか、子どもたちはどのように捉えているのだろうと疑問に思いました。
- ・「職員は親代わり」というお話しがありましたが、2歳から児童養護施設で過ごしていると職員のことを本当の親だと思ってしまう子どももいるのでしょうか。
- ・私の友人が児童養護施設に入所していました。仲が良く施設で一緒に遊んだりもしていました。その子とは塾が同じで、受験の時期は毎日夜遅くまで勉強をしていました。普段は夜ご飯があるからと18時頃には帰っていましたが、その当時は、毎日22時過ぎまで勉強をするのが当たり前になっていました。今になって、周りの友達に時間を合わせ気を使っていたのではないのかと、心配になりました（感想）。

## ③ 保護者について

- ・保護者と面会の際は2人きりで遊んだりするのでしょうか。もしその際に何か起きた時はどうなりますか。
- ・虐待をする親の印象を教えてください。

## ④ 児童養護施設の勤務について

- ・児童養護施設に就職となった場合は、年齢は幼児クラスの担当のみとなるのでしょうか。
- ・施設で働いている職員の休みはどのくらいありますか。どうやって決められるのですか。
- ・乳児院で働く保育士は、保育をするだけでなく、薬の服用や管理など、看護的な役割もしていました。児童養護施設の保育士も、薬の管理などを行うのでしょうか。

# 2.「乳児院に関する質問」

## ① 乳児院の生活場面について

- ・乳児院の映像を見て、沐浴の場面の際に一人ひとり0歳児を入れていたのはわかりますが、そのほかの年齢も一人ずつ入れるのでしょうか。それとも、複数まとめて入れるのでしょうか。
- ・あまりお買い物をする事が出来ないという乳児さんたちがお買い物に行く機会がありますか。

## ② 乳児の健康面について

- ・乳児院の映像に流れていた与薬のことですが、あのお薬はどんなお薬を飲ませているのですか。

## ③ 乳児院その他

- ・乳児院に来る子どもに名前がついていない場合はどのようにして決めるのでしょうか。
- ・乳児院を退所後、家庭の状況が改善されず再び乳児院に入所するという場合はありますか。

# 3.「発達障害、被虐待児に関する質問」

- ・障害の疑いを保護者に伝える際も「障害者扱いしないで」の様に、不快に捉える方や性格の問題だと言い出す方がいると思います。この先伝える際の注意点や心がけることがありますか。
- ・ADHDの子は注意欠如、多動性、衝動性が特徴だと思いますが、落ち着きがないなど手を出してしまうことは子どもにも多く判断が難しいと思いますが、病気の発見や気付ける点は他にもありますか。
- ・教材作成をやりながら、道具の使い方によって子どもたちの発達がわかると説明がありましたが、工作以外で子どもの発達がわかる行動はありますか。
- ・ADHDの子は学校では通常学級に入ることもあるのですか。
- ・発達障害で薬を服用している子どもがいると映像の中でありましたが、具体的にはどのような効果がありますか。

# 4.「事例研究に関する質問」

- ・子ども同士のけんかの事例の際に、「見守ることも大事」という話がありましたが、保育園でもこのようなことを言われました。「見守る」の判断基準はその園や施設によって違うと思いますが、こういう場合は指導員や先生方に聞いてもよろしいのでしょうか。

#### 4. 障害児・者施設：演習の紹介

障害児・者施設の演習では、「障害児・者とその家族、および障害児・者施設について理解すること」を目的とし、多くの映像資料を使用することにより、障害児・者の多様性と、施設での様々な取り組みを幅広く紹介することを意識した。

##### (1) 演習の進め方

初日に、日程、日誌の記入等の説明をし、最終日に、日誌の提出等の手続きについて説明した。毎日、午前と午後の演習終了時に「質問や感想、改善してほしいこと」を提出させ、午前提出の内容にはその日の午後の演習の始めに、午後提出の内容は翌日の演習の最初に紹介・解説した。

日毎の演習は、その日のテーマ・目的に合わせた形式で進めた。それらは、映像資料の視聴、施設職員による講演、事例研究である。以下、それぞれの形式による演習の内容を、表2に示した時間割の項目に沿って概観する。

##### (2) 映像資料の視聴（障害児・者とその施設、家族）

「障害児施設の生活①・②」では、障害児施設での子どもたちの生活の様子や支援の実際に関する2つの映像教材を、「重症心身障害児・者の生活」では、通園施設と入所施設、それぞれの様子がわかる2つの映像教材を視聴させた。「障害者の特性①②③」では、映画『レインマン』や、そのモデルとなった男性を紹介したテレビ番組、その他様々な特性を持った障害者を紹介する映像教材を視聴させた。「障害者施設の生活」では、障害者施設を紹介した映像教材やドキュメント番組を、「障害児とその家族」では、障害児の家庭の様子や・親のインタビューから成るテレビ番組を視聴させた。

それらの教材の視聴の前には、感想や意見、質

問を記入する用紙を配布し、視聴後に回収し、コメントや回答を交えて紹介した。

##### (3) 施設職員による講演（施設での障害者支援）

障害者施設に約20年勤務している職員による講演を実施した。内容は、学生時代から就職に至るまでのエピソードや、就職してからの子ども達や利用者とのかかわりの中で学んだこと、さらに支援のために大切なこと、基本的な姿勢や考え方などである。

写真や動画を視聴しながら話を聴くことにより、学生たちは、利用者や利用者の活動、作品等についての視覚的、具体的なイメージを喚起しながら理解できたようである。

##### (4) 事例研究（施設支援の基本）

事例研究①では、知的障害児の入所施設における、子どもの作業班の選択に関する事例を取り上げ、子どもの最善の利益、特に意見表明権に関する考え方や取り組みについて考察した。事例研究の前には、子どもの最善の利益や意見表明権に関する歴史的背景や支援に関する講義を行った。

事例研究②では、医療型障害児入所施設における、子どもの健康観察やコミュニケーションの取り方の基本について、事例を通して考察した。事例研究の前には、医療型障害児入所施設の法的位置づけや保育士の役割・ケアのポイント、「重症心身障害」や「療育」の定義について講義を行った。

#### 5. 演習の評価

学校内演習の評価については、実習終了後に行う「実習ラウンジ」への報告から抜粋する（表4）。本学実習ラウンジは、実習園の情報収集および実習の報告を行う相談室であり、専属のスタッフが対応している。実習ラウンジへの報告は、施設実

習に限らず、保育所実習、教育実習（幼稚園）においても同様に行うことになっている。

## 6. まとめ

以上、2020年度に行った保育実習Ⅰ（施設）学校内演習についての報告である。学校内演習は初の試みであったため、担当した教員も参加した学生も不安を抱えながらの実施となった。

学校内演習終了時に、参加学生から感想や改善点を提出してもらうことを失念していたことが悔やまれる。本演習の評価は、実習ラウンジでの報告によるものになってしまったが、学生からは好意的な意見も多かったことが幸いである。特に、卒業生の講演への肯定的な意見が多かった。卒業生という身近に感じる現場の職員が、実際の体験談をリアルに話してくれたことが学生の興味関心へとつながったのだろう。また、実習で学びたかったという学生の熱意あふれる思いも報告されていた。

さらに、「教員が授業と同じであった」「実習に行かなければ理解できないことがあった」などの検討すべき意見も複数あった。このような意見は、本演習に対しての教員側の準備不足をあらわしているといえるのではないだろうか。実習に参加できる学生と学校内での演習に参加した学生が差異を感じることがないよう、授業内容を検討することが課題である。

新型コロナウイルス感染症は、収束の気配すら見えない状況が続いているが、2021年度の実習先施設からは、「受け入れます」という心強い回答をいただいている。しかし、PCR検査やワクチン接種が受け入れの条件、感染の状況によっては受け入れができなくなることも想定してほしいという申し出もある。学生の学びの機会を確保することが教員の責務であるが、今後も実習が中止と

なった場合の学校内演習の必要性に迫られることを念頭に準備をしていかなければならない。今年度の反省を踏まえて対処していきたい。

## 参考文献・映像資料

- 藤原映久・宮下裕一（2021）「保育士養成課程における学内での演習・実習の試み ―コロナ禍における保育実習Ⅰ（施設実習）の代替として―」、『島根県立大学・島根県立短期大学部教職センター年報』（2）。
- 厚生労働省（2020）「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う指定保育士養成施設の対応について」、厚生労働省子ども家庭局保育課。
- 『児童養護施設における施設実習』, 2017, 株式会社新宿スタジオ。
- 『乳児院 あたたかい見守りの中で』, 2009, 株式会社新宿スタジオ。



表4 実習ラウンジの報告から（抜粋）

- ・動画を見て、虐待を受けた子どもとかかわり方や、障害者とかかわり方を学べた。悪い例も先生が説明してくれたので良かった。
- ・児童養護施設に興味があったが、障害児施設も学んだ。映像が多く、実際の施設のことを勉強ができた。
- ・1週目と2週目で先生が違うので、それによって全然流れが違った。どちらもいつもの授業みたいな感じというよりは実習に近い感じでよかった。施設は生活の場だから、毎日少しずつでも続けることが大事だということが身をもって知ることができた。
- ・元々障害者施設に行く予定だったが、もっと広い分野の話を聞くことができたので学ぶことが多かった。
- ・障害者の方と児童養護施設についての講義でした。先生の体験談を聞きました。ビデオとか先生の話が主だった。実際に行くことはできませんでしたが、質問しやすい環境で良い学びになりました。
- ・施設実習ではその施設のことはわからないが、1週目と2週目で乳児や障害者などの他の施設のことも学べた。
- ・初めはどんなことをするか不安だったが、ビデオを見せてもらったり、経験談を聞かせてもらったり、事例をもとに自分で考えることができたので勉強になった。
- ・2週間で1週間ずつ授業の内容が違っていった。1週目は児童養護施設、虐待などの話。施設で子どもたちがどう過ごしているか聞いた。他には子どもたちのトラブルにどう対応しているのかなど実践的なことも聞くことができた。2週目は障害者施設について主にビデオを見て学んだ。どういう生活リズムで過ごしているかなど。自閉症の人について昔の映画を観た。実際に施設へ行くことはできなかったが、たくさんの知識を学ぶことができたと思います。
- ・前半は児童養護施設のビデオで施設の1日の流れを学んだ。実習生が実際に施設へ行ったときに、どういうことを行うのか知ることができたり演習課題に取り組んだ。施設の子どもの喧嘩場面の仲裁の仕方や勉強の教え方をまず考えてから、答え合わせで学ぶような感じでした。途中で乳児院の生活について学んだり散歩道の下見の方法を学びました。保育の現場でも役立つし大事ななと思いました。後半は障害者施設についてビデオを見ました。途中で卒業生の方が来て現場や自分の仕事について話してくださいました。
- ・現役で働いている先輩の言葉が自分に響いて、施設の良さを感じた。心の傷を負っている子もいるなかで、その子たちの生活を支え、親代わりで働くことがいいなと思った。障害者施設も講義を受けて、実際にいる人たちなどを知ることができて勉強になった。
- ・映像を見るだけではなく、製作など実際の活動もできたのでよかった。実際に働いている現場の先輩が来てくれて、現場の様子を知ることができた。乳児院など、幅広く学ぶこともできたのでよかった。
- ・先輩の講義では、子どもたちの写真も見られたので参考になった。
- ・施設で働いている先輩の実際の現場の言葉はリアリティがあった。想像しながら聞くことができた。
- ・卒業生も話してくれて、とても詳しくエピソードも聞けたので、よかった。
- ・卒業生がきていろいろなお話をしてくれたことで、就職の選択肢が増えた。実習のほうが良いとは思いますが、自分が行かない部分の施設も見られて知見が広がった。
- ・施設の職員さんが実際に来て話をしてくださった。公園の下見の練習など充実していました。
- ・障害児のビデオや先輩の話を聞けることができた。実際に実習をすることはできなかったが、どうやって実習をするのか知ることができた。
- ・実際に施設へ行くことはできなかったが、施設の1日の流れがわかるビデオを見せてもらえて学べた。卒業生の方が来て講演してくださっていい機会になった。
- ・児童養護施設、乳児院、障害者について学べた。職員の方が来て、お話をしてくださった。保育所よりも事情を抱えた子どもが多いのが印象的でした。
- ・1つの施設だけでなく、複数の施設について学びました。パニックに対してどのように接したらいいのかなど実践的なことについて学びました。学内実習って何するんだろうってはじめは思っていたが、施設に関する知識は増えたと思います。できれば施設に行ってその現場の雰囲気を経験できたらなとも思った。
- ・常に動画を見たり、製作をしたりと座学が多かった。実習であるようなことが経験できない分、自分で考える機会が多かった。
- ・いつも授業を受けている先生方の授業だったので、学校で普通に授業を受けている感じだった。他の実習に行っている学生と格差を感じる。
- ・前半の養護系の動画を見たが、行きたかったなーと思って残念だった。湘北の卒業生が来てくれて話をしてくれたのが勉強になりました。
- ・2週間のうち1週目は養護施設、2週目は障害者施設について学びました。卒業生の方のお話を聞きました。施設に行ってみなきゃわからないこともあるので、正直物足りないとも思ったが、先生たちがいろいろと準備してくださり学ぶことができたのはよかったです。

※アンダーラインは、実習に参加できなかったことが残念だという報告（筆者加筆）。

## Alternative Classes for Childcare Practice I (Facility Practice) — Approaches to In-Campus Exercises —

Masato TAKAHASHI, Hiromitsu SUZUKI

### 【abstract】

All first-year students of the college's Childcare Department are required to participate in Childcare Practice I (facility practice) to obtain their childcare license. However, due to the new coronavirus infection, 34 facilities have contacted us to cancel the facility practice for the year 2020. Therefore, it was decided to conduct the exercise in accordance with the practice in the school. This paper reviews the content of the in-campus exercises that will replace the facility practice and discusses the future of the practice.

### 【key words】

Under COVID-19, Facility practice, In-campus exercises